

# お知らせ

令和5年7月3日

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター

病院長 篠田淳

中部脳リハビリテーション病院及び中部療護センターでは下記の要領で臨床研究を予定しています。

研究題名 脳腫瘍患者の皮質構造フラクタル解析による言語優位機能半球推定と皮質形成過程の解明

目的 これまで脳腫瘍の治療には手術前に多くの脳機能を知るための脳機能検査が行われてきましたが、正確に言語機能を調べるためには侵襲のある検査が必要でした。今回、通常脳構造を知る目的で行われるMRI検査を用いて言語機能の部位を正確に知ることが出来るかどうか確かめるための研究を行います。将来的には脳発達や脳腫瘍の形成のメカニズムを解明することを目指しています。

対象と方法 脳に腫瘍などの異常を指摘されていない方のMRI及び脳腫瘍を指摘されている方のMRIをそれぞれ調べ、画像から皮質構造を特殊な解析方法（フラクタル解析）を用いて言語の優位機能部位を明らかにします。通常病院で行う脳MRI検査と同様の画像を用いて行いますので、追加でご負担をお願いすることはありませんが、MRI検査の際の注意事項に従っていただきます。

人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。

研究代表者 矢野大仁（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター

脳神経外科 矢野大仁

TEL : 0574-24-2233